

柱6 地域の歴史・文化・自然から得る学び

■ 目標指標

	指標	基準値	目標値 (令和7年度)
20	市立図書館におけるレファレンス件数 *「横須賀の図書館」	28,929 件 (令和元年度)	43,000 件
21	市立図書館における総貸出冊数 *「横須賀の図書館」	1,460,056 冊 (令和元年度)	1,500,000 冊
22	自然・人文博物館来館者数 本館の来館者数 *横須賀市博物館報	54,634 人 (令和元年度)	62,000 人
23	自然・人文博物館来館者満足度 本館の来館者満足度。来館者へのアンケートにより「全体の満足度」「展示物」「解説パネルや展示構成」「施設・設備」の各項目について調査し、集計した「総合」の満足度を指標とします。 *横須賀市博物館報	— (新規)	85.0%
24	横須賀美術館展覧会観覧者数 *横須賀美術館運営評価報告書	127,077 人 (平成29年度～ 令和元年度の平均)	141,000 人
25	横須賀美術館企画展満足度 来館者へのアンケートにより、「作品」「観覧料」「配置・見やすさ」「解説・順路」「心的充足」「総合」の各項目について調査し、「総合」の満足度を指標としています。 *横須賀美術館運営評価報告書	90.0% (令和元年度)	90.0%
26	教育普及事業参加者の満足度 ワークショップや講演会など、教育普及事業の参加者へのアンケートにより、事業の満足度を測定します。 *横須賀美術館運営評価報告書	— (新規)	90.0%

※ 基準値は、新型コロナウイルス感染症の影響等により調査が実施できなかった場合や実績が例年と著しく異なる場合は、その影響がない年度の数値としています。

施策 13 文化遺産・自然遺産の活用と将来への継承

1 現状と課題

本市には旧石器時代以降、さまざまな歴史の舞台となった背景があり、三浦半島という地理的特性の中で生まれ、そして受け継がれてきた多種多様な文化遺産・自然遺産があります。

文化財保護法に基づく指定等を受けた文化財だけでも、国・県・市を合わせて 135 件あり、これらは、本市の魅力をアピールする重要な要素となっています。

一方で、文化財の指定等を受けているか否かにかかわらず、文化遺産・自然遺産の保存と将来への継承は常に大きな課題です。

これら本市の貴重な資産である文化遺産・自然遺産を保存し、将来に継承していくためには、地域の協力が欠かせません。地域住民が身近にある文化財を知り、郷土を一つのアイデンティティーとして捉えていくことが地域の振興やまちづくりにもつながっていくと考えます。

文化財の保存と活用という両輪のバランスをしっかりと取りながら、将来へ継承していくことが求められています。

2 事業

事業 66	近代化遺産の保存・活用（生涯学習課）
概要	本市特有の魅力である近代化遺産を広く市内外にアピールするため、基礎的な調査研究、資料収集を行い、記録を公表し、市内外への周知を図ります。 また、その保存と活用について関係機関と協議し、どのような形で後世に伝えることが最善かを検討します。

事業 67	史跡東京湾要塞跡の活用推進（生涯学習課）
概要	歴史的にも重要な価値を有している史跡東京湾要塞跡を良好な状態で将来に継承するため、各遺跡の遺構修理や整備工事の方法を検討・実施します。 また、史跡の魅力を市民のみならず国内外に広く発信し、観光や教育等に幅広く活用していけるよう、関係機関や団体、関係部局と連携を図ります。

事業 68	浦賀レンガドックの保存（生涯学習課）
概要	浦賀レンガドックを将来に継承していくため、文化財指定を目指し、歴史的価値の調査・研究を行います。調査・研究に当たっては有識者から指導を受け、市の基幹産業であった造船業の姿を伝える浦賀ドックの調査記録を公開・活用し、本市の新たな魅力のアピールにつなげていきます。

事業 69	重要文化財の保存管理と公開活用（生涯学習課）
概要	文化財の保護と次世代への継承のため、指定文化財等所有者・管理者と連携・協議します。 また、市内に所在する文化財のうち重要なものを指定して、保護・保存を図るとともに、公開・活用を図りながら市民の文化的資質の向上を目指し、将来へ受け継いでいきます。
事業 70	天然記念物の保護と適切な管理（生涯学習課 博物館運営課）
概要	本市の豊かな自然を代表する天然記念物を適切に管理するため、所有者や関係機関と連携・協議して保護を図ります。 また、市民が体感し、親しみ、学ぶことができる自然遺産として、馬堀自然教育園や天神島臨海自然教育園を活用します。
事業 71	埋蔵文化財の保護と調査（生涯学習課）
概要	埋蔵文化財を保護するため、埋蔵文化財包蔵地で計画された開発行為については、埋蔵文化財保護の協議を行うとともに、必要な試掘確認調査および本発掘調査を実施し、その結果を文化財速報展や発掘調査報告書により公開します。
事業 72	万代会館の整備と活用の検討（生涯学習課）
概要	市指定重要文化財である万代会館の保存と活用を図るため、現状では経年による損傷があり利用できない状態となっている建物の維持管理の継続と、利用再開に向けた整備を検討します。
事業 73	市民団体との協働による文化遺産の活用（生涯学習課）
概要	市内各地の文化遺産の一層の保存・活用を図るため、千代ヶ崎砲台跡活用サポーターの会などの市民団体との連携・協働を強化します。
事業 74	学校教育での文化財の活用（生涯学習課）
概要	学校教育での文化財の活用を図るため、文化財整理室の出土品の展示・解説を行うとともに、市内各学校からの要望に応じて発掘調査の出土品やその他実物資料を使った授業、史跡見学などの屋外学習の支援および民俗芸能の体験など、郷土横須賀の歴史や伝統文化を学ぶ機会を提供します。

事業 75	民俗芸能・伝統文化の保護と継承（生涯学習課）
概要	<p>市内各地に伝わる伝統的な文化や芸能を次世代へ継承していくために、横須賀市民俗芸能保存協会加盟団体と協調して、指導者と後継者の育成を図るとともに、発表の場として民俗芸能大会ならびに民俗芸能ミニイベントを交互に隔年で開催します。</p> <p>また、指定重要無形文化財・指定重要無形民俗文化財および国選択無形民俗文化財については、映像記録を広く公開し活用していきます。</p>

第3章

方針3 生涯を通じた学びを支援します
柱6 地域の歴史・文化・自然から得る学び



千代ヶ崎砲台跡



横須賀民俗芸能大会（浦賀の虎踊）

施策 14 図書館・博物館・美術館における豊かな学びの推進

一 図書館 一

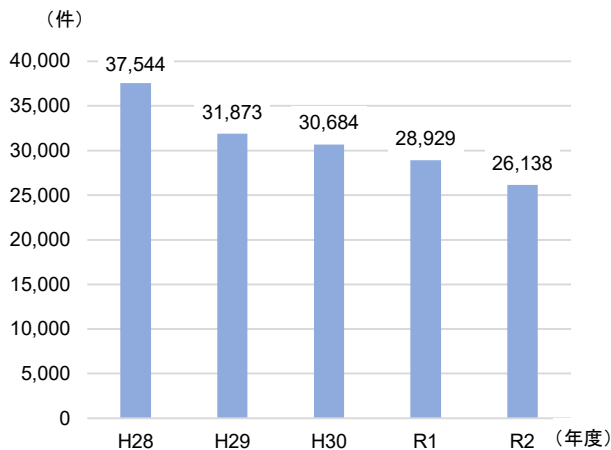
1 現状と課題

本市には、「中央図書館」「北図書館」「南図書館」のほか、全国でも珍しい、児童のための独立した「児童図書館」を加えた4つの市立図書館があります。さらに、各コミュニティセンター等で図書の閲覧・貸出や取り次ぎを行うなど、全市域にわたって図書館サービスを提供しています。

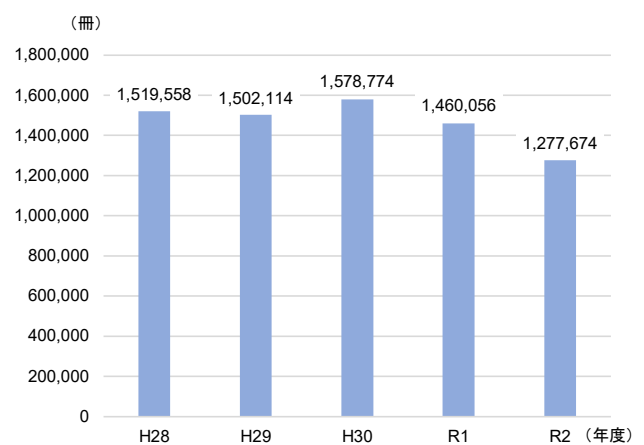
市立図書館では、市民の役に立つ、市民から頼りにされる図書館を目指し、レファレンスや情報提供の充実、市民の読書活動や生涯学習での活用を図っていますが、今後は、資料のデジタル化や、にぎわいを生む新たな図書館としての在り方の検討も必要です。

また、子どもにとって読書は、言葉や知恵を身に付け、表現力や想像力を高め感性を豊かにし、成長していく上で欠くことのできないものです。「第4次横須賀市子ども読書活動推進計画」に基づき、全ての子どもが自発的な読書習慣を身に付け、本と出会い・楽しみ・学ぶことができるような、豊かな読書活動を推進する必要があります。

【市立図書館におけるレファレンス件数】



【市立図書館における総貸出冊数】



※令和元年度、令和2年度の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるものです。

出典：横須賀の図書館

2 事業

事業 76	子ども読書活動の推進（中央図書館）
概要	<p>子どもの読書活動を推進するため、「第4次横須賀市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの発達段階に応じたさまざまな取り組みを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ブックスタート事業 <p>乳児健康診査時（4か月児が対象）に、絵本、おすすめ絵本リスト、図書館利用案内等が入った「ブックスタートパック」を赤ちゃんと保護者へ配布するとともに、1組ごとの読み聞かせを実施します。</p> ○ ブックリストの配布 <p>図書館が子どもに会ってほしい本をリストにした「ブックリスト」を、3歳児健康診査時や小中学校の夏休み前に配布します。</p> ○ 学校との連携 <p>図書館見学、おはなし会等を実施するほか、調べ学習のための図書の特別貸出を行います。</p> ○ 「子ども読書の日」等に合わせたイベント開催やPR活動の実施
事業 77	図書館資料の収集、保存、提供（中央図書館）
概要	<p>資料収集基準に基づき、市民ニーズに即した資料および地域特性を生かした資料、郷土資料を収集し、利用しやすい整理と将来にわたって有益な資料の保存に努めます。</p> <p>また、資料収集とともに所蔵資料（フィルム、絵葉書、古文書、古地図等）の整理保存を進め、利用しやすい方法で提供・公開していきます。</p>
事業 78	図書館情報サービスの提供（中央図書館）
概要	<p>市内全域に図書館サービスを提供するため、図書館とコミュニティセンター図書室等のサテライト拠点を結んだネットワークシステムの円滑な運用を図ります。</p>
事業 79	ICタグ導入による本の貸出サービス等のセルフ化（中央図書館）
概要	<p>IC技術を活用し、図書に貼付されたICタグによって、利用者が図書の貸出や返却をセルフで行うことができるようにし、利便性の向上を図ります。</p>
事業 80	レファレンスと情報提供の充実（中央図書館）
概要	<p>図書の探し出しや調べものに役立つよう、レファレンスと情報提供の充実を図ります。</p> <p>また、社会環境の変化による市民ニーズを把握しながら、電子書籍の導入や今後の図書館の在り方について検討します。</p>

事業 81	企画展等の充実（中央図書館）
概要	市民が必要とする知識・情報を提供するとともに、図書館の利用促進を図るため、企画展・課題解決コーナーなどの展示や映画会等のイベントを実施します。

事業 82	図書館ボランティア活動の推進（中央図書館）
概要	読書活動に関わる市民ボランティアを支援するため、読み聞かせボランティアの育成やスキルアップのための研修を実施するとともに、読み聞かせやおはなし会・ブックスタート事業等を連携して実施します。

～ 横須賀市子ども読書活動推進計画 ～

子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、本市における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえた施策について定める計画です。

第1次計画ではブックスタート事業の開始やおはなし会、第2次計画では学校図書館に関する取り組みの充実等に重点を置き、第3次計画では3歳児健康診査時のブックリスト配布を開始するとともに、学校配送便の新設などの成果を上げることができました。

令和4年度（2022年度）からの第4次計画では、「子ども自らが本と出会い・楽しみ・学ぶ、豊かな読書活動の推進」の目標のもと、子どもの発達段階ごとに目標と重点を掲げ、一人一人の子どもを取り巻く状況や個性に応じた、子ども読書活動の更なる推進を図ることとしています。



児童図書館「おはなし会」



市民ボランティア等を対象とした「児童サービス講座」

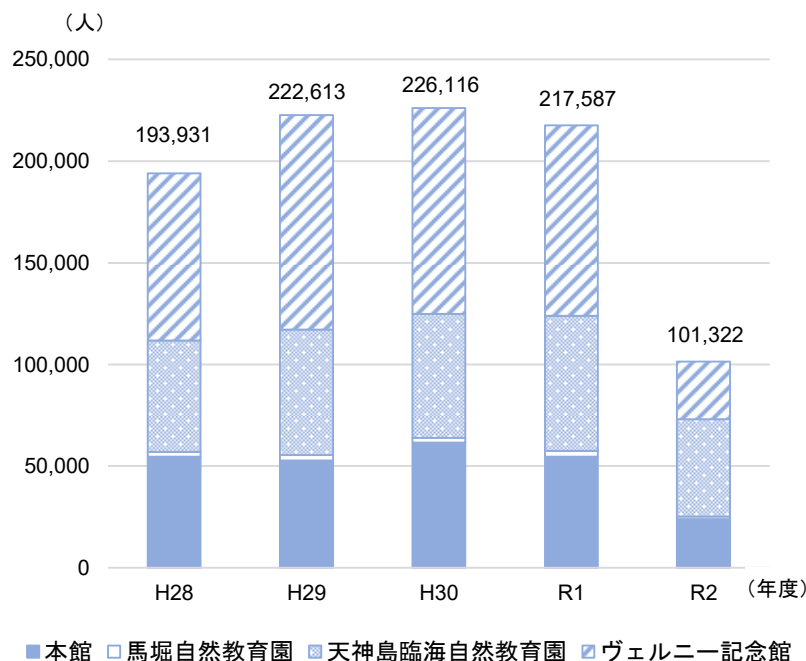
— 博物館 —

1 現状と課題

自然・人文博物館は、地域の総合博物館として60年以上に及ぶ調査・研究と収集、寄贈などによる豊富な資料を基に、三浦半島の自然と歴史を分かりやすく展示しています。博物館の附属施設として、ホテルやトウキョウサンショウウオなど森と水辺の生物を保護育成している馬堀自然教育園、海岸・海洋生物を保護し、美しい海岸環境を保全している天神島臨海自然教育園があり、また、日本の近代化に大きな足跡を残したヴェルニーと横須賀製鉄所を紹介するヴェルニー記念館についても、博物館と連携し、一体的に運営しています。

今後は、展示内容や施設設備の充実を図るとともに、誘導サインの拡充、インターネット等を活用した積極的な情報発信、地域に密着した活動等によって市民にとって博物館がより身近で親しみやすい学びの場となる取り組みが必要です。また、子どもから高齢者まで、多様なニーズに応じた展示や行事を開催するとともに、学校支援事業としての資料の貸し出しや学芸員の派遣などによる学校との連携をより積極的に行うことも必要です。

【自然・人文博物館等来館者数】



※令和元年度、令和2年度の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるものです。

出典：横須賀市博物館報

2 事業

事業 83	自然・人文博物館のリニューアルの検討（博物館運営課）
概要	<p>これからの地域社会を担う子どもたちや子育て世代などが再び訪れたいくなるような魅力ある博物館とするため、体感的に学ぶことができる、新しい展示技術の導入や幅広い世代に親しまれる空間づくりなど、博物館のリニューアルを検討します。</p>
事業 84	歴史資料・自然誌資料の収集・整理、調査・研究、保存・活用（博物館運営課）
概要	<p>博物館に蓄積されてきた歴史資料・自然誌資料を適切に保管し、整理するとともに、調査研究報告書、資料集等を作成し、展示・講座などで広く市民に公開します。</p> <p>また、最新資料の収集、調査・研究を行い、市民・学校・他部局等からの要望に適切に対応できるよう取り組みます。</p> <p>横須賀を特徴づける近代歴史資料、自然誌資料などの地域研究を核とした博物館の専門性をさらに高めます。</p>
事業 85	展示の充実（博物館運営課）
概要	<p>常設展示、特別展示、企画展示の充実を図るとともに、附属施設（馬堀自然教育園、天神島臨海自然教育園）やヴェルニー記念館の適切な運営を行います。</p> <p>また、スマホアプリ等を活用し、展示解説の充実を図ります。</p>
事業 86	博物館教育普及活動の推進、学習機会の提供（博物館運営課）
概要	<p>生涯を通じた自己の充実や生活の向上のため、歴史や自然に関する講座、自然観察会、夏休み体験学習などの教育普及活動を行うとともに、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とし、博物館の各施設を利用した講座や現地での野外学習などを実施します。</p> <p>また、市の関係部局や学校、市民団体が実施する環境教育、環境学習、郷土史研究などの支援、事業連携を行います。</p>
事業 87	天然記念物の保護と適切な管理（生涯学習課 博物館運営課） ※事業 70 の再掲
概要	<p>本市の豊かな自然を代表する天然記念物を適切に管理するため、所有者や関係機関と連携・協議して保護を図ります。</p> <p>また、市民が体感し、親しみ、学ぶことができる自然遺産として、馬堀自然教育園や天神島臨海自然教育園を活用します。</p>

事業 88	子ども向け博物館教育普及活動の推進（博物館運営課）
概要	博物館が子どもにとって身近な存在になるよう、教職員との共同研究、学校教育に役立つ展示・企画、資料貸出、学芸員の派遣などの学習支援を積極的に行うなど、学校と連携・協力して、児童生徒の学習の場を提供します。

事業 89	親しみやすい博物館を目指した活動の推進（博物館運営課）
概要	親しみやすい博物館を目指し、地域の自治会、商店街などと連携し、イベントなどを通して地域に密着した博物館活動を充実させます。 また、来館（園）者アンケート等により利用者の実態を把握するとともに、ホームページ、YouTube、SNS等を活用して博物館の教育普及活動を広く市民に情報発信し、親しみやすさ、分かりやすさを充実させます。



博物館イベント「子ども地球教室」



自然・人文博物館「ナウマンゾウ」

— 美術館 —

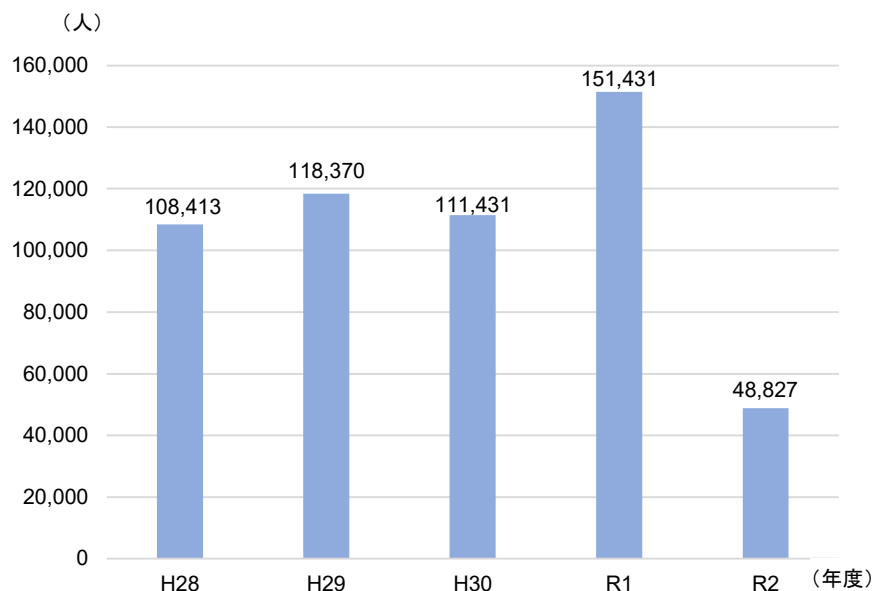
1 現状と課題

横須賀美術館は、美術への理解を深め、市民に親しまれる美術館を目指し、企画展、所蔵品展の開催により多様な美術の表現に触れる機会を提供するほか、講演会やワークショップ等教育普及活動を多数開催しています。また、小学校6年生美術鑑賞会や児童生徒造形作品展などを行い、学校との連携を一層深めるとともに、子ども・家族向けの教育普及事業を充実させることにより、子どもたちの美術館教育に寄与しています。

そして、観音崎という風光明媚な環境に立地し、アートを活用したまちづくりの中で大変重要なポテンシャルを持っている横須賀美術館の価値を高め、市民の愛着や誇りを向上させるとともに、新たな利用者を開拓していくことは、本市のまちづくり・観光に寄与し、また、教育機関としての機能の充実につながると考えられます。そのためには、市の様々な施策と連動させた事業展開を得意とする市長部局による運営が望ましいことから、令和4年度（2022年度）から、横須賀美術館に関する事務を市長に移管することとしました。

なお、移管後も横須賀美術館が社会教育法、博物館法等に基づく社会教育機関であることに変わりはありません。今後も社会教育の政治的中立性、継続性・安定性の確保、学校教育との連携等に留意し、社会教育を適切に実施していく必要があります。

【横須賀美術館展覧会観覧者数】



※令和2年度の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるものです。

出典：横須賀美術館運営評価報告書

2 事業

事業 90	展覧会の充実（美術館運営課）
概要	<p>多くの人々に優れた美術作品と出会い、親しみ、感動を得る場を提供するため、国内外の近現代美術を中心とした展覧会、多数の所蔵作品や谷内六郎館の紹介、および集客効果の高い企画展など、幅広いジャンルを対象とした展覧会を開催します。</p> <p>また、新たに国指定重要文化財の公開に向け、文化庁から公開承認を得て展示の企画を行います。</p>
事業 91	知的好奇心を育成し充足させる教育普及活動の推進（美術館運営課）
概要	<p>「知的好奇心の育成と充足」を目的とし、美術への理解を深め、美術館に対して親しみを感じられるワークショップや講演会、学芸員やアーティストによるトークを開催します。</p> <p>また、一層幅広い層が参加できるよう、スマホアプリやSNSを活用した展示紹介などを通じて、新たな教育普及活動に取り組みます。</p>
事業 92	福祉活動の充実（美術館運営課）
概要	<p>年齢や障害の有無にかかわらず美術と美術館を楽しめるよう、創作や鑑賞を支援する多様なプログラムおよびサービスを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 障害児者および通所作業所利用者等を対象としたワークショップの実施 ○ 対話鑑賞の実施および特別支援学校、高齢者施設の受け入れ ○ 触察教材、音声ガイド、手話通訳等を活用した鑑賞プログラムの提供 ○ 託児サービスの実施
事業 93	子どもたちへの美術館教育の推進（美術館運営課）
概要	<p>子どもたちの創造性を高め、さまざまな人たちとの交流から美術の意味や価値を学ぶ機会を提供します。また、スマホアプリやSNSを活用し、誰もが参加しやすい教育普及活動に取り組むとともに、学校教育に資する、充実した鑑賞体験の場を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども・親子向けのワークショップの実施 ○ 子ども・親子・家族向けの展示解説および鑑賞プログラムの提供 ○ 保育園・幼稚園、小中学校の受け入れ ○ 小学生美術鑑賞会（小学校6年生）の実施 ○ 美術館活用推進のための教員向けプログラムの実施と学校における鑑賞活動の支援 ○ 児童生徒造形作品展の実施
事業 94	美術館ボランティア活動の推進と人材の育成・交流（美術館運営課）
概要	<p>市民との協働による美術館ボランティア活動を推進し、学習、成長の場を提供します。また、研修等の受け入れや地域連携を進め、人材交流に努めます。</p>

事業 95	美術品の収集、保存、活用（美術館運営課）
概要	収集方針に基づき、積極的な収集活動を行い、所蔵作品の充実を図ります。 また、所蔵作品のデータベース化を進め、展示、ホームページ、SNS、アプリのポケット学芸員などを通じて広く情報発信を行うほか、所蔵作品の修復などを行い、市民の文化遺産を未来へ伝えます。
事業 96	美術作品、普及事業の調査・研究（美術館運営課）
概要	日本近現代美術史、地域の美術を中心とした調査・研究を行い、展示に生かします。また教育普及活動に関して最新事業を調査し、ノウハウを蓄積し、事業に反映させて質の向上を図ります。
事業 97	図書資料の収集と公開（美術館運営課）
概要	所蔵作品に関連する書籍・展覧会図録を中心に、美術全集や絵本等を含む美術関連の多様な図書資料を収集し、公開します。また、約2万冊からなる匠文庫（美術評論家・匠秀夫氏旧蔵資料）を良好な状態で保存し、公開します。
事業 98	「市民に親しまれる美術館」を目指した活動の推進（美術館運営課）
概要	地域の人々や他部局、異業種との連携を強め、「市民に親しまれ、利用される美術館」を目指した活動を行います。また、ウェブサイトやSNSを活用し、市民や横須賀を訪れる人々に積極的な情報発信を行います。



小学生美術鑑賞会



美術館ワークショップ「みんなのアトリエ」